

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成23年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県釜無川スポーツ公園	所管課	スポーツ健康課
所在地	甲斐市西八幡	設置年月日 (改築年月日等)	昭和46年3月
管理方式	指定管理者(甲斐市、平成18年4月1日～平成23年3月31日)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県都市公園条例		
設置目的	①以下に掲げる都市公園としての機能を発揮すること ・遊び、憩いの場を提供すること ・良好な緑地景観、環境を提供すること ・防災拠点としての機能を発揮すること ②スポーツの場を提供すること		
主な施設内容 (定員等)	グラウンド(球技場2面) ターゲットバードゴルフ18ホール テニスコート6面 公園部分駐車場台数:乗用車120台		
主な業務内容	○利用の承認に関する業務 ○施設及び設備器具の維持保全に関する業務 ○その他教育委員会が必要と認める業務		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	小瀬スポーツ公園、緑が丘スポーツ公園、櫛形総合公園、韮崎中央公園、韮崎公園、富士北麓公園、都留市総合運動公園、くぬぎ平スポーツ公園、河口湖総合公園
-------------------	---

3. 利用状況

単位:人、%

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度 (目標値)
利用者数	球技場	20,532	22,040	17,664	
	庭球場	2,143	2,303	6,549	
	ターゲットバードゴルフ場	3,616	3,600	3,620	
	利用者数合計	26,291	27,943	27,833	
	目標値	19,477	26,291	27,943	27,833
	目標値設定の考え方	オフシーズンである12月～2月の利用を促進するよう積極的に周知活動を展開することにより利用者増を図り、前年度を超えることを目標とする	オフシーズンである12月～2月の利用を促進するよう積極的に周知活動を展開することにより利用者増を図り、前年度を超えることを目標とする	オフシーズンである12月～2月の利用を促進するよう積極的に周知活動を展開することにより利用者増を図り、前年度を超えることを目標とする	オフシーズンである12月～2月の利用を促進するよう積極的に周知活動を展開することにより利用者増を図り、前年度を超えることを目標とする
	対21年度比	100.0%	106.3%	105.9%	105.9%

4. 収支状況

単位:円、%

		平成22年度	平成23年度 (計画値)	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (計画値)
収入	施設利用料	928,740	1,068,000	884,042	1,068,000
	指定管理者委託料	2,125,000	2,125,000	2,125,000	2,125,000
	その他	1,700,242	1,986,000	1,533,434	1,897,000
	収入合計(A)	4,753,982	5,179,000	4,542,476	5,090,000
支出	人件費	0	0	0	0
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	4,753,982	5,179,000	4,542,476	5,090,000
	(うち外部委託費)(B)	2,299,104	2,300,000	2,292,016	2,300,000
	支出合計(C)	4,753,982	5,179,000	4,542,476	5,090,000
収支差額(A-C)		0	0	0	0
外部委託比率(B÷C)		48.4%	44.4%	50.5%	45.2%
利用者一人当りの経費		76	76	76	76

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成23年9月~23年10月、実施方法:施設利用者へのアンケート、回答数:48人
-------	---

単位:%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①施設・設備管理	36.6%	48.8%	9.8%	4.9%
②利用料金	28.6%	40.5%	2.4%	28.6%
③予約・手続き	34.1%	59.1%	0.0%	6.8%
④接客・サービス	34.1%	65.9%	0.0%	0.0%
各項目の平均	33.3%	53.5%	3.0%	10.1%

利用者の意見	テニスコート夜間照明を設置してほしい、テニスコートを人工芝にしてほしい(4件)、テニスコート土を入替えてほしい、テニス側トイレを改修してほしい(2件)、ターゲットバードゴルフ場にトイレを設置してほしい(3件)、入口がわかりづらい、落ち葉の処理をしてほしい(2件)
利用者の意見への対応	施設内の清掃等については随時対応している。 施設整備改善については今後財政状況を踏まえて検討していく。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	事業計画書どおり実施した。	事業計画書どおり実施した。
運營業務	事業計画書どおり実施した。	事業計画書どおり実施した。
自主事業		
利用状況	事業計画書どおり実施した。	東日本大震災の影響で利用人数目標に及ばなかったが、昨年度並みの利用人数を確保できた。
収支状況	事業計画書どおり実施した。	利用者の減少により収入については計画を下回ったが、支出については経費の節減を図ったことにより、計画以上に支出を抑制できている。
利用者満足度	適正であると判断した。	満足・十分との割合が33.3%であり、昨年度の54.0%を20.7%下回った。利用者の意見への対応など、利用者サービス向上に努めていく必要がある。
運営目標の達成状況	利用人数目標の27,943人に対し実績は27,833人であり、達成率は99.6%であった。東日本大震災の影響で4月、5月は夜間照明の使用を中止したが、昨年度並みの利用人数を確保できた。また、施設の管理運営については、事業計画どおり適正に行った。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	施設管理・運營業務について、協定及び事業計画書に基づき適正に履行されており、施設の修繕等については迅速な対応が取られている。今後も引き続き経費節減や利用者サービスの向上に努めるとともに、利用者数向上のためPR活動等を行うこと。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	引き続き施設の維持管理を徹底し良好な整備状況を保ちながら、経費削減を図りながらサービスの向上に努めます。更なる利用者数の増加を図るため、市外利用者及び大会等の誘致をまいります。	

7. 管理体制(組織図)

